

記者発表資料
令和6年5月13日
疾病・感染症対策課 感染症対策第一班
担当：渥美、鈴木、小林
電話：022-211-2632

つつが虫病について【注意喚起】

■つつが虫病とは

野外作業や農作業、レジャー等でダニ類が生息する場所に立ち入ると、ダニ類に刺されることがあります。そのうち、リケッチアという病原体を有しているツツガムシに刺されると、「つつが虫病」に感染する可能性があります。潜伏期間は、5～14日とされ、発熱や発疹が主な症状です。ヒトからヒトへの感染はありません。

全国的に2つの発生ピーク（春～初夏、秋～初冬）があり、東北地方では、一部のツツガムシが越冬し、融雪とともに活動を再開するため、春から初夏にかけて多く発生します。

■県内（仙台市を含む）つつが虫の発生届出数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
R4	1	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	6
R3	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3

今年度においても、感染事例が探知されていること、今後、山登りやキャンプなど屋外での活動も多くなると考えられることから、より一層の予防に心がけていただくようお願いします。

■予防対策

ツツガムシは一部の地域を除き全国的に生息していることから、山林、原野、河原等に入る時は、次のようなことに心掛けましょう。

- ・長ぐつや手袋を着用する。
 - ・衣服は、長そでのものを着用する等、素肌を出さないようにする。
 - ・ダニ忌避剤の使用も有効とされている。
 - ・草むらに直接座ったりしない。
 - ・帰宅したら風呂に入り、風呂の中で体の皮膚（特に内また等のやわらかいところ）をなでてみて、トゲが刺さったような感じがするところがあるときには、医師の診察を受ける。
 - ・脱いだものは全て洗濯する。
 - ・早期診断、早期治療が大切なので、わきの下のリンパ腺が腫れたり、高熱、発疹等が出たときは、直ちに医師の診察を受ける。
- この場合、最近10日間ぐらいの間に、山林、原野、河原等に行ったことがあれば、忘れずにそのことを医師に告げる。

【参考】

- ・つつが虫病とは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/436-tsutsugamushi.html>
- ・ダニ等が媒介する感染症に注意しましょう（宮城県ホームページ）
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/danibaikai.html>